

《企業紹介》

同社はベトナムの大手空運サービス企業である。ベトナム国内発着便の提供座席数シェアは 42%でトップ(2023 年 1-3 月期)となっている。2007 年にマレーシアの LLC (格安航空会社) であるエア・アジアとベトナム現地資本の合弁により設立され、ベトナム政府の外資規制方針によりエア・アジアが資本を引き上げた後の 2011 年 12 月から事業を開始した。価格の安さだけでなく、ベトナムの国内外の航空旅客輸送ネットワーク開拓に注力し、ベトナム人にとって航空旅客サービスをよりポピュラーな移動手段にすることをミッションに掲げている。

《2023 年 7-9 月期決算》

2023 年 7-9 月期の売上高は前年同期比 22.7%増の 14.2 兆 VND (ベトナムドン) となった。前年同期に 0.8 兆 VND の計上があった航空機等売却収入がなくなったが、旅客運送収入が同 39.2%増の 13.6 兆 VND となったことが売上高を押し上げている。旅客運送収入の内訳は、国内線旅客収入が同 20.5%減の 2.7 兆 VND と不振だったが、国際線旅客収入が同 200.8%増の 3.5 兆 VND、チャーター便収入が同 104.6%増の 2.2 兆 VND、付帯業務収入が同 24.6%増の 5.1 兆 VND と好調だった。

採算の良い国際線旅客収入の増収によって粗利益率が同 5.6%ポイント上昇の 8.7%となり、粗利益は同 241.0%増の 1.2 兆 VND と大幅な増加となった。粗利益の拡大が営業費用の増加を吸収し、営業利益は同 265.1%増の 2,013 億 VND となった。なお、営業費用の増加要因は、金融収支の支払超過額が支払利息増加によって前年同期の 269 億 VND から 2,385 億 VND に拡大したこと、販売費が販売促進費の大幅増加によって同 333.5%増の 6,189 億 VND となったことが挙げられる。営業利益の増加に伴って、税引後利益は同 232.4%増の 1,351 億 VND となった。

4-6 月期に航空機等売却収入が 4.3 兆 VND あったことを考慮すると、売上高は国際線旅客収入の増加を中心に 4-6 月期に比べて増加しているとみることができる。粗利益率も 4-6 月期に比べて改善している。営業利益は営業費用の増加によって 4-6 月期比で減少しているが、これは積極的な販売促進活動によるものである。業績回復の方向性が明確になり、攻めの姿勢を示したという見方も可能だろう。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期		2023年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	11,600.5	337.1	11,807.3	323.4	12,897.9	185.2	16,872.0	45.6	14,234.7	22.7
粗利益	363.8	-34.9	-3,843.1	赤字転落	1,062.2	黒字転換	1,102.3	-2.2	1,240.8	241.0
(粗利益率)	3.1	-17.9%p	-32.5	-	8.2	+13.9%p	6.5	-3.2%p	8.7	+5.6%p
営業費用	308.7	-32.3	-97.5	-	818.7	-	866.0	1.3	1,039.5	236.7
(うち純金融収支、マケスは受取超過)	26.9	-	-711.1	-	242.3	-	171.6	-	238.5	-
(うち販売費)	142.8	19.9	430.2	198.9	420.4	226.6	453.5	93.0	618.9	333.5
(うち一般管理費)	139.0	127.7	183.3	38.0	156.0	31.7	240.8	194.6	182.0	31.0
営業利益	55.1	-46.5	-3,745.6	赤字拡大	243.5	-2.2	236.3	-13.2	201.3	265.1
税引前利益	44.3	-57.1	-2,126.7	赤字拡大	243.0	-2.8	275.7	-1.5	198.6	348.7
税引後利益	40.6	-44.2	-2,356.2	赤字拡大	172.2	-29.5	213.1	18.3	135.1	232.4

出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20231113

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトジェットエア(VJC)



《株価の推移》

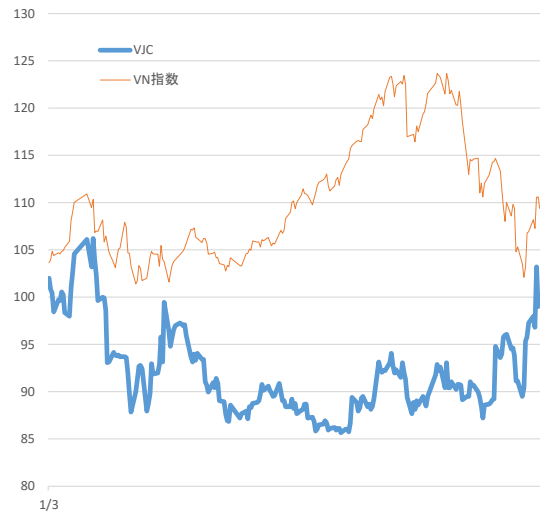
同社の株価とVN指数を、2022年12月終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価のパフォーマンスは、年初から一貫してVN指数のそれを下回って推移しているが、10月以降に、VN指数が調整色を強める中、同社の株価は上昇に転じ、急速なキャッチアップの動きをみせている。11月10日終値の2022年末比の水準はVN指数が9%上昇となっているのに対し、同社は0.5%の下落となっている。また、11月10日終値109,000VNDで計算した同社の時価総額は59.0兆VNDとなっているが、この水準は過去最高の税引後利益5.3兆VND(2018年12月期)の11.1倍の水準となっている。

同社は2023年12月期について、売上高を前期比27.5%増の50兆1,780億VND、税引後利益を1兆VNDの黒字転換と計画している。1-9月累計実績の進捗率は売上高が88%、税引後利益が52%となっている。計画達成のハードルは高いが、収益力の回復の方向性が見えつつあり、積極的な販売促進活動が今後のシェア拡大に繋がる可能性がある。今後、収益水準が大きく上昇する可能性には留意する必要があるだろう。足元で社債や株式の発行を積極的に行い、機材調達の拡大による売上高増加の加速、金融収支改善も期待できる。

2023年12月期会社計画の業績水準は、コロナウィルスの感染拡大前だった2019年12月期の水準に対して売上高がほぼ同水準となっているのに対し、税引後利益の水準は26%に止まっている。2024年12月期以降の利益水準向上余地が大きい点にも留意する必要があるだろう。

ベトナムの交通インフラは発展途上にあり、所得水準が向上すれば、中長期的に航空機による旅客や貨物の輸送需要の成長余地は大きいと考えられる。中国南部や東南アジア全体までを含めて考えればなおさらである。ベトナムにおける航空運送事業の成長ポテンシャルが大きいこと、同社がベトナム市場においてフラッグキャリアを抜いてトップシェアを獲得し、更に積極的なシェア拡大を目指していることにも留意する必要があるだろう。なお、リスク要因としてはベトナム経済が後退し、旅客需要が縮小することであろう。7-9月期の国内線の売上高が前年同期比で減少している点には注意する必要があるだろう。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20231113

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。